# CSV 自動マッピング

1.	概要	2
	1-1.CSV 自動マッピングとは	2
	1-2. オブジェクト種別ごとの CSV 自動マッピング	4
2.	CSV 自動マッピング 方法	6
	1. 準備	6
	2. 自動マッピング	6
3.	CSV 自動マッピング詳細設定項目 1	0
4.	マッピング用 CSV ファイルフォーマット1	1
5.	ヘッダーマッピング指定時の自動マッピングについて1	2
6.	制限事項1	3

## 1. 概要

CSV マッピングには、Datamap エディターによるマッピングと、CSV 自動マッピングがあります。 Datamap エディターによるマッピングは複雑なマッピングを行えますが、一般的な CSV のマッ ピングの場合は CSV 自動マッピングが便利です。

1-1. CSV 自動マッピングとは

マッピングとは、帳票の動的に変化する部分とデータを関連付ける作業です。 この作業のために、フォーム上では動的に変化する部分を変数として定義し「変数名」をつけ ます。

<u>図:変数とデータの関連付け</u>



たとえば上の図では、

変数: TEXT002 に CSV データの1行目1項目
 変数: TEXT006 に CSV データの1行目4項目
 にマッピングを行うと、実際の帳票では
 変数: TEXT002 に「東京都帳票市帳票町1-2-3」
 変数: TEXT006 に「帳票太郎」
 が出力されます。

マッピング作業は帳票資源ファイル生成時に行い、方法としては

(1) Datamap エディターによるマッピング

(2)CSV 自動マッピング

があります。

CSV 自動マッピングはマッピング用の CSV ファイルを予め準備してから行います。

マッピング用の CSV ファイルとは、マッピング位置にフォーム上に定義された変数名を出力した CSV ファイルです。(フォームに定義された変数の一覧を出力したマッピング用の CSV ファ イルを作成する機能もあります。詳しくは後述の「CSV 自動マッピング方法」をご覧ください。)

帳票レイアウトが定義された帳票資源ファイルにマッピング用の CSV ファイルを使い CSV 自動 マッピング機能を実行するとマッピング作業が完了します。

図:変数マッピング



マッピングの位置は、CSV ファイル内で変数名が指定されている場所になります。 上の図では

変数: TEXT002 に CSV データの1行目1項目 変数: TEXT006 に CSV データの1行目4項目 にマッピングが行われます。

図:データマップエディター

Datamapīr	ィター - CSV [auto	mapping.dmp]					-		×
ファイル(F) 編集(E	:) 表示(V) オフ	' ション(O) ウイント'	ウ(W) ∿⊮ブ(H)						
🖹 🚔 🖬 🖆	7   🖨 🖪 🖪	🛛 📩 🗙 🔏	9	~ 本体	- 🛛 📰 Σ 📓	. ?			
変数名	種別	属性	行項目	番号 行数	項目数 ^ッタ?	出力範囲 集計	重複表示		
TEXT002	テキスト		1 💠 1	<b>‡</b> 1	<b>‡</b> 1     ‡		表示	$\sim$	
変数名	TEXT002	TEXT004	TEXT005	TEXT006					^
B TEXT002									
B TEXT004									
B TEXT005									
B TEXT006									
									~
<	> <								>
レディ					現在位置 < 行:	1 項目番号:1>	変数総	数:4 1	IUM

1-2. オブジェクト種別ごとの CSV 自動マッピング

#### 一般(表・グラフ変数以外)のオブジェクト

マッピング用の CSV ファイルに変数名または変数の記述を指定します。マッピングの位置は、 マッピング用 CSV ファイル上で変数名または変数の記述が指定されている場所になります。

図:一般オブジェクトの自動マッピング



#### 表オブジェクト

マッピング用の CSV ファイルに表のセル名を指定します。マッピングの位置は、マッピング用 CSV ファイル上でセル名が指定されている場所になります。

図:表オブジェクトの自動マッピング

extIディタ - [RepeatedTa	ole_mapping.csv]			-		
F) 編集(E) 表示(V)	オブション(O) ∧ルブ(H)					
🛥 🗖 I X 🗈 📾 I	▲ 響 言 浦 곹 → 위	8 🛄 i g 🗸 🔪 🕴	**			
目積加。取引失一		コード 商品夕 数量	単価 全婚 備老		<u>^</u>	
5079N074X5176-	- 1,40,00		十11世, 並與, 11月 与			
Datamap1:	19 CSV [Repeated labie.dmp]					~
7744(F) 現集	E) 表示(V) おブション(O) ワインド	9(W) ^17 (H)		-		
: 🔛 🖙 🖬 🛛	≊  ⇔Là Ei  & X X		<u>* _   12 Z 28 E  </u>	7		
2019/025 1420-1129 1125-0	種印 牌住	17 月日春末(7分)	(周日朝) への出力に	0ED ALS-	重視表示	
100 JA20-7100	*.					
支数名	311 95.0040	10/5/072-1-1-10/5/07		0.0 27.3	. +10	^
国 税り返し明報						
表オブ ジェクト詳細マッピ ンク					×	
					~	
表わらた外の冬頃日に	対するフォ*の対能を変更します					
事の項目名	デーカ属性	, 	カラムデータ	1		
日付	7+2h	1行目1項目	日付	-		
見積NO	テキスト	1行目2項目	見積No			
取引先コード	テキスト	1行目3項目	取引先コード			
取引先名	7キスト	1行目 4項目	取引先名			
<u>商品コード</u>		1行目5項目	商品コード			
商品名	7777	1行日 6項日	前品名			
<u>設</u> 並	772	1行日 /項日	設 並 (本)	-		
<u>半回</u> 会類	717XP	17日 0-月日	半個			
備者	71/1	127日 107百日	備者			
金額(集計7泊っか) 029	テキスト(事計)	設定ない。	1/W 7			
at an one of the original	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0.00				
一括設定						
項目移動・						
項目移動: +						
項目移動: +						~
	xt17 ダー「RepeatedTal り 編集(E) 表示(M) 二日、一部のののののでは、 「見) 和は、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	xttF : ℓ - [RepeatedTable_mapping.csv]     f) 編集(E) 表示(V) 17 2 3 2 (O) 407 (H)     G	xtif が - [RepeatedTable_mapping.csv]     p 編集(E) 表示(V) オブ 5×2(O) ペ37 (H)     □ ぶ 座 @ @ [2] 宣 袖 ← → 鈴 宍 [2] & < > *     □ ぶ 座 @ @ [2] 宣 袖 ← → 鈴 宍 [2] & < > *     □ ぶ 座 @ @ [2] [2] G 袖 ← → 鈴 宍 [2] & < > *     □ ぶ 座 @ @ [2] [2] G 袖 ← → 鈴 宍 [2] & < > *     □ ぶ ம m @ [2] [2] G 袖 ← → 鈴 穴 [2] [2] (2] (2] (2] (2] (2] (2] (2] (2] (2] (	triff 分・[RepeatedTable_mapping.cs/]     ##(E) 表示(V) ゴブシン(O) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 表示(V) ゴブシン(O) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 表示(V) ゴブシン(O) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 人のはののジブ・グ CV [RepectedTable.chep]     T/(4V; ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(V) ~47 <sup>*</sup> (H)     ##(E) 本示(V) ゴブシン(D) 70 <sup>*</sup> (P)(E) 本示(V) <sup>*</sup> (P)(E) + F <sup>*</sup>	triff 42-[RepeatedTable_mapping.cs/]	triff d - [RepeatedTable_mapping.csv]

#### グラフ変数オブジェクト

マッピング用の CSV ファイルに変数名または変数の記述を指定します。マッピングの位置は マッピング用 CSV ファイル上で変数名または変数の記述が指定されている CSV カラムを基準と してマッピングを行います。グラフ変数についてはグラフ種別にあわせて常に固定のマッピン グ範囲でマッピングされますので、自動マッピング後にデータマップエディターで実際のデー タフォーマットにあわせて再マッピングしてください。



S. T	ext፤ディタ - [graph_maj	pping.csv]						-		×			
77114	F) 編集(E) 表示(V)	オプション(O	) ^⊮7'(H)										
۱n (	<b>* 8   1</b> Pa 🖻	8	宣 補 ←	⇒ 😤 🖁	53 & <	> *	"						
グラ	フ変数									^			
	🗾 Datamap1) 🛷 -	CSV - [grap	h.dmp]								_		×
	ファイル(F) 編集(E)	a示(V) オブ	・ション(O) ウイン	F'⊅(W) ^	∿7 <sup>*</sup> (H)								
	🗎 🗳 🖬 🖆 🖉	/a 🖾	📩 🗙 💥	. 🖪 🖽	9	~ 本体	~	🗏 Σ 🔜	🔜 🛛 ?				
	変数名	種別	属性	行	項目番	号 行数	項	目数 ^ヶ	1出力範囲	集計	重複表示		
	グラフ変数	グラフ		1	<b>\$</b> 1	<b>\$</b> 4	<b>\$</b> 7	<b>÷</b>				$\sim$	
	変数名	グラフ変	數										^
	III グラフ変数												
									_				- 11
													- 11
													_
													_
									_				-
									_				_
<													_
ゲィ									_			-	-
									_				_
									_				-
													_
													_
									_			-	~
	< 2	> <											>
	ν <del>τ</del> ' τ						現在位置	置 < 行:22 耳	頁目番号:	4>	変数総数:	1 NU	M

※ ヘッダーマッピングが指定されている場合はマッピングされる位置が異なります。詳細は、 後述の「ヘッダーマッピング指定時の自動マッピングについて」を参照してください。

## 2. CSV 自動マッピング 方法

CSV 自動マッピングの操作方法を説明します。

1. 準備

ジョブファイルとフォームファイルの作成は、通常通りに行います。 ここでは、ジョブファ イルとフォームファイルの作成が完了した帳票資源ファイルが "帳票資源フォルダー ¥tut¥ AutoMapping"に用意されていますので、このファイルを使用して説明します。 帳票資源フォルダーはマネージャーの [ヘルプ]-[バージョン情報]-[バージョン情報詳細] で確認できます。

図:マネージャー

Create!Form V12 マネージ ャー	- 🗆 X
ファイル(F) 編集(E) 実行(T) 表示(V) ツール(O) 設定(S)	
	→ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
ディレクトリツリー ¤ ×	作業ディルクリ: C:¥ProgramData¥Infotec¥CreateForm¥12¥work¥tut¥AutoMapping v P1 1×3 v
tut     t	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
mitsumori	7°-9771//J21 + ×
🗑 👝 mitsumori_csv	7711/2名 デー9917 サイズ 更新日時 7716先頭30文字
⊕ mitsumori_db ⊕ mitsumori_pagebreak ⊕ mitsumori_txt	理E autoMappingFIN_mapping.csv CSV 129 <sup></sup> 什 2021/04/28 15:29 BIKOU,PNO,MOYORI
le"	

♦♦操作♦♦

マネージャーを起動します。画面左のフォルダーツリーから ″帳票資源フォルダー¥tut¥AutoMapping″ を選択します。帳票一覧より、「CSV 自動マッピング」を選択し、ダブルクリックでFormエディター を開き内容を確認後、Formエディターを閉じます。

2. 自動マッピング

自動マッピングは、マネージャーの[自動マッピング]ダイアログより行います。

#### ♦♦操作♦♦

ツールボタンより [CSV 自動マッピング] をクリックします。

自動マッピングダイアログが表示されました。

今回はマッピング用の CSV ファイルを作成してから自動マッピングを行います。 まず、マッピング用のフォームファイルと、データマップファイルを選択します。 (なお、複合表を含む帳票の場合は、フォームファイル名とともに表名を選択し、表毎にデー タマップファイルを作成します。)

#### <u>図:CSV 自動マッピング</u>

С	SV自動マッピング		×
	帳票名 CSV自動マ	ッピング	-
	CSV自動マッピングす	อ771N	
	フォームファイル:	autoMapping.fmd V	
	データマップファイル:	autoMapping.dmp V	
	CSV自動マッとやりに	使用するCSVファイル	
	CSV7711:	> 新規作成	
	マッピング設定		
	ヘッダドテ要約:	Tio	
	マッピンクドテ数:	lîŢ	
	改ページ処理:	政ページコート、 設定変更	
	☑csv自動マルシ	完了後、DatamapIデタで間( CK キャンセル	

♦♦操作♦♦

```
    [CSV 自動マッピング]ダイアログで
    [フォームファイル] autoMapping.fmd
    [データマップファイル] autoMapping.dmp
    を選択します。
    [CSV 自動マッピングに使用する CSV ファイル]の[新規作成]ボタンをクリックします。
```

<u>図:CSV 自動マッピング -CSV ファイル新規作成 -</u>

CSV自動マッビング-CSVファイル新規作成-	×
作成するCSV7ァイル名を指定して下さい。	
autoMapping_mapping	.csv
☑ マッピング用CSVファイルを作成後、エディタで開く	
作成	キャンセル

#### ♦♦操作♦♦

 [ CSV 自動マッピング - CSV ファイル新規作成 -] ダイアログで autoMapping\_mapping.csv
 と指定し、[作成] ボタンをクリックします。 <u>図:マッピング用 CSV ファイル内容の確認</u>



マッピング用の CSV ファイルが作業ディレクトリに指定した名前で作成されます。テキストエディターが起動し、作成後の CSV ファイルが開かれます。 CSV ファイルには Form エディター で定義された変数が、「1 変数 1 カラム」で 1 行目に Form エディターでの定義順に記載されています。

変数名の並び順の変更が必要な場合はここで並び替えます。

ここまでで、マッピング用の CSV ファイルの準備が終わりました。ここからは、自動マッピン グによりデータマップファイルを作成します。 自動マッピングダイアログに戻ります。

図:CSV 自動マッピング

CSV自動マッピング		×
帳票名 CSV自動マ	ッピング	1
─CSV自動マッピングす	3771H	
フォームファイル:	autoMapping.fmd V	
デ─タマップファイル:	autoMapping.dmp 🗸	
-CSV自動マッピックでご CSVファイル:	使用するCSVファイル autoMapping_mapping.csv 〜 新規作成	
マッピック語改定 ヘッダー行 フッピックドラ素和・	017	
砍∿~沙処理:	☆ヘ~シンコード 設た変更	
☑csv自動マッビンク	完了後、DatamapIデやーで開く OK キャンセル	

#### ♦♦操作♦♦

[CSV 自動マッピングに使用する CSV ファイル]に、先ほど作成した CSV ファイルが指定されていることを確認します。[OK] ボタンをクリックします。

マッピングが完了したデータマップファイルが自動で開かれます。マッピング内容を確認して ください。 CSV ファイル上に記載された変数名の位置に、テキスト変数がマッピングされてい ることが確認できます。

Datamapīדֹ' אאָ-	- CSV - [auto	Mapping.dmp	]			_	
ファイル(F) 編集(E)	表示(V) わ	ション(O) ウイント	ウ(W) ∿⊮ブ(H)				
🗎 🖌 🖬 🖆	a 🖪	🛛 🕁 🗙 🔏	9	~ 本体	III Z 🔯	<b>.</b>	
変数名	種別	属性	行項目都	号 行数		~出力範囲 集計	· 重複表示
BIKOU			1 📫 1	÷ 1	<b>‡</b> 1 <b>↓</b>	$\sim$	表示
変数名	BIKOU	PNO	MOYORIEKI	KANRIHI	SIKIKIN	MENSEK I	KOUZOU ,
B PNO							
B MOYORIEKI							
B KANRIHI							
B SIKIKIN							
B MENSEKI							
B KOUZOU							
B CHINRYOU							
B REIKIN							
B YOUTO							
B KAITATE							
B GFILE_1							
B GFILE_2							
B PHOTO1							
B MADORI1							
B UKL_LINK							
× 3	>   <						>
レディ			3	現在位置 < 行:	:1 項目番号:7>	変数総数	女:16

図:自動マッピングの出力確認 (データマップエディター)

以上でデータマップファイルの完成です。

9

## 3. CSV 自動マッピング詳細設定項目

CSV 自動マッピングを実行する際に指定できる詳細設定項目です。

この設定は、データマップファイル作成後に、データマップエディターの[データマップ設定] で再設定することができます。

図: CSV 自動マッピング詳細設定

CSV自動マッピングー詳細設定-	×
ヘッダ行数(ヘッダマッセンク行数) CSV7ァイルミヘッダを記載している場合、ヘッダ行数を指定して下さい。	
マポンケ行数 実数オフジェントに対し、マポンクゲする行数を指定して下さい。	
★パノスは、FU (ABC、 / / ABC、 40 / / / AC (18) / C 50       ひべージ処理       ひべージロード(FFコード:00h)でひべージ       「行数でひべージ(②)       1 (二)       行数でひべージ(③)	
文字(5)	

[ヘッダー行数(ヘッダーマッピング行数)] ヘッダーマッピング機能で使用するヘッダーマッピング行数(0-999行)を指定します。

[マッピング行数]

変数オブジェクトに対してマッピングされる行数(1-999行)です。 リンク変数、PDF 変数、グラフ変数、表は、常に1行になります。

[テキスト変数はForm エディターで配置した領域の高さから算出した行数を使用] Form エディターで定義されたテキスト変数の高さから自動マッピング行数を計算して マッピングを行います。行数はForm エディターで定義された領域の高さと行間隔から 算出されます。テキスト変数に[リスト形式データの出力]が設定されているときは1 行でマッピングされます。

[改ページ処理]

改ページ処理の方法を指定します。改ページについては、別項をご覧ください。

[ひページコード (FF コード:0Ch) でひページ]

改ページコードでの改ページを行います。この設定は常に有効で無効にすることはで きません。

[行数で改ページ]

行数で改ページを行います。ヘッダー行数・マッピング行数より大きい値である必要 があります。行数は 1-999 行で指定します。

[ 改ページ文字で改ページ] 改ページ文字で改ページを行います。改ページ文字は、半角英数・半角記号(アスキー コード 0x21-0x7F) 10 文字以内となります。

## 4. マッピング用 CSV ファイルフォーマット

マッピング用 CSV ファイルは、CSV 自動マッピング機能で使用するファイルです。Form ファイ ルで定義された変数名を CSV 形式で出力します。自動マッピング機能では、変数名が出力され たカラムをデータ位置(マッピング対象位置)の基準として、変数オブジェクトのマッピング を行います。

マッピング用 CSV ファイルの自動生成機能を使用しないでマッピング用 CSV ファイルを作成す る場合は以下のフォーマットで CSV ファイルを作成してください。

ファイル拡張子 : csv

#### 変数名記載方法 :

表以外のオブジェクト : 変数名を指定 表オブジェクト : セル名を指定

変数名 指定位置 : 1-999 行、1-9999 列 内の CSV カラム

CSV 区切り文字 :, (カンマ) CSV 制御文字 : "(ダブルコーテーション) CSV 行数 : 1 ~ 999 CSV 列数 : 1 ~ 9999 文字コード : SJIS

注意点

- ・変数名にカンマが含まれる場合はダブルコーテーションでそのカラムを括ってください。
- ・変数名にダブルコーテーションが含まれる場合は、ダブルコーテーションを2つ重ねた上
   で、そのカラムをダブルコーテーションで括ってください。
- ・表オブジェクトは、1つの CSV ファイルに複数の表のデータをマッピングすることはできません。表ごとに1つの CSV ファイルを作成します。
- ・1 つの CSV ファイル内で、同名の変数・セル名を複数指定することはできません。

## 5. ヘッダーマッピング指定時の自動マッピングについて

帳票出力に使用する CSV ファイルにデータ項目を表すヘッダー行が出力されている場合、ヘッ ダー行数を指定したマッピングを行います。ヘッダー行数の指定は、自動マッピングの詳細設 定項目から行いますが、ヘッダー行数が設定されている場合はマッピング対象位置(CSV カラ ムのデータ位置)はヘッダー行数で指定された行の最下行のみになり、マッピングはマッピン グ対象位置の次の行(ヘッダー行の次の行)になります。

たとえば、ヘッダー行数3行のマッピング用CSVファイルを用意し、ヘッダー行数を3行の設 定でマッピングを行った場合、3行目に出力された変数のみマッピング対象となり、実際のマッ ピングはヘッダーの次の行にマッピングされます。



## 6. 制限事項

以下の場合、CSV 自動マッピングは実行することができません。

- ・対象のデータマップファイル(CSV 形式もしくは未定義のデータマップファイル)が無い
   ・表オブジェクトが定義されており、かつ TXT もしくは DB 形式のデータマップファイルが 混在している
- ・繰り返し帳票のキーを設定されているデータマップファイルに対して、再度自動マッピングした結果、キー項目の値が不正になる場合は繰り返し帳票のキーは解除されます。(設定されているキー項目の列数より、新規にマッピングするマッピング用 CSV の列数が少ない場合)

## Create!Form 12 CSV 自動マッピング 第2版

発行日 発行者 2024 年 8 月 インフォテック株式会社